

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福井県

行事名称	文化財火災防御訓練
実施期間・日時	令和2年1月23日(木) 午前9時30分～9時55分
実施場所	北郷の庄屋屋敷 重要文化財 旧木下家住宅(勝山市北郷町伊知地5-3)
主催者	勝山市消防署・勝山市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

付近より出火。付近住民が初期消火にあたるも延焼拡大の様相を呈し、旧木下家住宅への延焼の恐れがあるため、消防隊が駆けつけ火災防御にあたる。また、旧木下家住宅内の重要書類等の搬出を実施する。

訓練の内容

住民役(管理人①)が火災を発見し、初期消火(屋外用消火栓)を実施。同時に、放水銃が始動。関係者(管理人②)が119番通報し、消防隊が到着後、情報聴取。指揮者の指令により、各隊員によるホースによる消火活動、水幕ホースによる延焼阻止を行う。その後、建物から文化財(模擬)を搬出する。

参加者及び役割分担

管理人	(2名) 火災発見、初期消火、119番通報
勝山市消防署	(14名) 全体統括、放水、文化財搬出、講評、防火査察
勝山市教育委員会	(7名) 現場立会、文化財受取、挨拶、文化財解説、防火査察
文化財保護委員	(1名) 文化財受取
旧木下家住宅活用団体	(2名) 立ち合い、見学
消防設備事業者	(2名) 立ち合い、防火設備説明補助
北陸電力	(1名) 防火査察
県文化財担当課	(2名) 立ち合い、見学
	その他 地域住民 見学

特に工夫した点

日々交替で旧木下家住宅の管理(委託)をしている担当者(2名)に訓練に参加してもらい、消火設備の操作や119番通報等、実践していただいた。また、旧木下家住宅活用団体の会員にも訓練をみていただき、文化財防災意識の高揚を図った。

問題点・課題

万が一に備え、常に放水銃のポンプ燃料を満タンにしておく必要がある。
初期消火としての屋外用消火栓の使用方法を地域住民にも学んでいただく必要がある。

その他

毎年、文化財防火デーに合わせて文化財防御訓練、防火査察を行う事で、管理者(所有者)や市民の文化財愛護意識、文化財防災意識の高揚を図る良い機会になっており、今後も継続して実施することが重要と考える。

訓練風景

別紙のとおり

文化財火災防御訓練・防火査察（令和元年1月23日）



旧木下家住宅での文化財防御訓練
屋外消火栓を使用した初期消火



旧木下家住宅での文化財防御訓練
放水銃が作動する中、消防隊が到着。文化財の建物に延焼防止のため、消防隊が水幕ホースを設置。



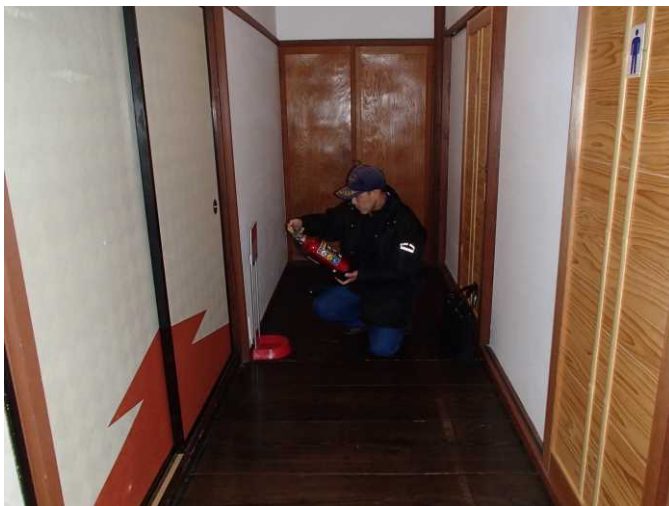
旧木下家住宅での文化財防御訓練後の終了式
消防長による講評



平野家離れ座敷での防火査察
消火器点検



旧成器堂土蔵での防火査察
火災警報器点検



旧料亭花月楼での防火査察
消火器点検・電気設備点検

